

「学び合い」の場を県民有志で創れるか！？

水陸両用車の開発を起爆剤とした新産業の創出

：共同開発とビジネスモデル構築における「学び合い」を基盤に

とき 2012年6月9日  13時30分開場
14時00分開始

ところ 高知市文化プラザ
かるぽーと9階特別学習室



○ワークショップのご紹介○

高知県出身でケルン在住のレーシングカーデザイナー高村卓志が言い出しっぺとなって、実現に向けて進めている「サンダーバード作戦計画」(Thunderbird Operation Plan)。一部の高知県民のあいだで、ひそかに話題になっています。その概要は、高知県の風土に合った水陸両用観光バスを地元有志で開発し、運行するビジネスモデルを作ってみようというもの。「こんな不況の時だからこそ、勇気と志を持って他県がやったことの無い面白いことをやらんかえ！」という熱い意気込みと、「高知の若者に夢を持って活動してもらいたい！」という強い希望を抱いた計画です。このたび、企業経営者、ビジネスパーソン、官公庁や産業支援機関の方々、さらには県下の高等教育機関の学生のみなさんにお集まりいただき、「サンダーバード作戦計画」について多くの方々にお披露目したいと考えています。

主催者である高知大学人文社会科学系では、共同研究プロジェクト「域内企業の学び合い・競争を通じた企業と地域の持続的発展モデルの探求と実践」(プロジェクトリーダー：中川 香代)において、域内企業間の学び合いが活発になることによって、産業集積が乏しいと言われている地域であっても創意工夫をベースとする「持続可能な社会の構築」につながるのではないかと考え、研究を進めています。「サンダーバード作戦計画」は、

地元企業と高等教育機関が共同で水陸両用観光バスを開発し、それを利用したビジネスモデルについても共同で立案することを想定しており、一連の活動は地域に「学び合い」の文化を根付かせると期待しています。

当日は、計画のお披露目に留まることなく、「もし、高知県で水陸両用車が開発できたら、どんなビジネスモデルが考えられるか」について、参加者のみなさんと一緒に考えていただく時間を設けます。実現するには高い壁を乗り越えたり、壊したりしなくてはいけないかもしれませんが、一旦現実をヨコに置いて、面白おかしく夢を語り合って頂ければと思います。

そして、最後に特定非営利活動法人 日本水陸両用車協会からゲストスピーカーをお招きし、水陸両用バスによる観光ビジネスが直面している課題を冷静にお話しいただき、高知県で取り組む際の障害やそれを乗り越えるヒントを掴んでみたいと考えています。

○参加申し込み○

配布資料や会場設営の準備を行うため、恐れ入りますが事前申し込みをお願いいたします。2012年6月7日(木)までに、下記まで「お名前」「ご所属」を明記のうえご連絡ください。よろしくお願いたします。

【ご連絡先・お問い合わせ先】

高知大学人文学部社会経済学科 中道一心 kazushi@kochi-u.ac.jp

○タイムスケジュール○

- 13:30 開場
 - 14:00 ご挨拶
高知大学人文学部社会経済学科 准教授 中道 一心
 - 14:10 「サンダーバード作戦計画」(TOP)お披露目
TOP言い出しっぺ 高村卓志
 - 14:50 高知県における水陸両用車を使ったビジネスモデルを考える
参加者でグループワーク
 - 15:40 ビジネスプラン報告
 - 16:10 水陸両用車の現状とビジネスプランの講評
日本水陸両用車協会から招聘
 - 16:50 閉会
- ※17:30ころから高知市内で懇親会を開催

○アクセス○

【電車】土佐電鉄「はりまや橋」(徒歩5分)「菜園場」(徒歩3分)
【バス】土佐電鉄・県交通「はりまや橋」(徒歩5分)

【お車でお越しの方へ】
ワークショップの会場であります「高知市文化プラザかるぼーと」の地下駐車場がございます。なお、この駐車場は有料(30分ごとに150円)になっております。誠に申し訳ありませんが、ご来場者の負担になりますので、どうぞご了承ください。

【住所】
高知市九反田2-1

